

パークゴルフ ルール改正ダイジェスト

2020年3月1日施行

	旧ルール	新ルール
1	ティーアップ プレーヤーは、指定されたティグラウンドのティーアップエリア外にティーアップしストロークすることはできない。	ティーアップ プレーヤーは、ティーアップエリア内にボール全体をティーアップしストロークしなければならない。
2	アンプレヤブル（定義） 無し	アンプレヤブル（定義） 正常なストロークが困難な場合などにプレーヤー自身が判断して救済を求めることをいう。
3	練習ストローク 練習ストロークを行った場合は、 <u>競技失格</u> とする。	練習ストローク 練習ストロークを行った場合は、 <u>委員会が練習ストロークを行った以降最初のストロークにペナルティを付加する。</u>
4	アクシデントストローク（定義） 無し	アクシデントストローク（定義） 過失によって行ってしまった規則違反となるストロークのことをいう。打数に算入しないが、ストローク数に応じてペナルティが付加される。
5	ホールアウトの不履行 プレーヤーがあるホールをカップインせずに、次のホールのティーショットを打った場合は失格となる。	ホールアウトの不履行 プレーヤーが、あるホールをカップインせずに <u>スコアを提出した場合は、その組全員を競技失格とする。</u> 提出前にホールアウトしなかったホールに戻り、 <u>カップインした場合は、ボールを拾い上げたことによるペナルティを付加しホールアウトを認める。</u>
6	ホールを間違えた場合のプレー オナー1人がティーショットしても、 <u>組全員の連帯責任</u> で組全員にペナルティが付加される。	ホールを間違えた場合のプレー ティーショットをした <u>プレーヤーのみ</u> にアクシデントストロークのペナルティが付加される。 ※練習ストロークとはみなしません。
7	指定以外のティグラウンドからのプレー プレーヤーは、そのホールの指定以外のティグラウンドからプレーした場合、1ストロークに数えペナルティを付加しボールの止まっているところからプレーを続ける。	正規のティグラウンド以外からのプレー プレーヤーは、そのホールの正規のティグラウンド以外からプレーした場合は、ボールを回収し、正規のティグラウンドからプレーしなければならない。この場合において、そのホールのスコアに間違えたプレーヤーのみアクシデントストロークのペナルティを付加する。

	旧ルール	新ルール
8	<p>ライの改善</p> <p>プレーヤーは、ストローク中を除き、樹木などの生長物に触れることまたは動かさない障害物を動かすこと、若しくは、砂、バラバラの土、地面の不整箇所を取り除いたり、押しつけることによって、自分のボールの位置や周辺の状況を改善してはならない。</p>	<p>ライの改善</p> <p>プレーヤーは、スイング、ストローク動作を行う範囲の区域内において、ボールが止まっている周辺の芝や地面、樹木などの生長物、動かさない障害物などに触れることによってライを改善してはならない。</p> <p>※ライの改善とは、ボールを打ち易い状態にする為の違反行為のことです。</p>
9	<p>ボールにアドレス</p> <p>2打目以降で、プレーヤーがアドレスした時に、クラブがボールに触れてボールが動いた場合は、これをストロークとみなし1ストロークに数える。ただし、この場合において、ボールが元の位置に戻った場合に限りストロークと見なさない。</p>	<p>ボールにアドレス</p> <p>2打目以降で、プレーヤーがアドレスしたときに、クラブがボールに触れた場合は、これをストロークとみなし1ストロークに数える。</p> <p>※ラフ等でクラブヘッドをボールのすぐ後ろに置くなどして打球時に挟まりそうな芝の状態を変えた場合は、ライの改善によるペナルティが付加されます。ラフ等でクラブヘッドを置くときは、ライの改善とならないようにある程度離してアドレスするべきです。</p>
10	<p>ボールの拾い上げ</p> <p>第2打以降で、本規則に基づいて拾い上げるボールのうち、リプレースを要する場合は、前もってそのボールの位置をマークしなければならない。</p>	<p>ボールの拾い上げ</p> <p>第2打以降は、<u>プレーヤーの判断により同伴者に宣言した上で</u>ボールをマークして拾い上げること、また拭くことができるが、リプレースしなければならない。</p> <p>※ラフ等にあるボールを宣言の上でマークして拾い上げた場合は、元のライの状態に正確に戻さなければなりません。ライの改善を指摘されてペナルティとならない様に注意する必要があります。</p>
11	<p>動かさない障害物（ストローク中）</p> <p>規定なし</p>	<p>動かさない障害物（ストローク中）</p> <p>動かさない障害物を動かしてストロークしたときは、ペナルティを付加する。</p> <p>※大木等の動かないと思われるもの以外は、触れたら動いたと判断します。</p>
12	<p>カジュアルウォーター</p> <p>ストロークされるボールが当該カジュアルウォーターを避けうる、カップに近づかない、ボールが止まっていた所にできるだけ近い位置に、ペナルティなしで拾い上げたボールをプレースする。</p>	<p>カジュアルウォーター</p> <p>救済を受けるボールが止まっている位置から、<u>当該カジュアルウォーターを避けうるできるだけ近い位置までの距離以内で、</u>カップに近づかない位置にペナルティなしでボールをプレースすることができる。</p> <p>※救済を受ける場合にプレース位置の範囲が拡大されました。</p>

	旧ルール	新ルール
13	<p>修理地</p> <p>プレーヤーが前項により救済を受ける場合は、ストロークされるボールが<u>当該修理地を避けうる、カップに近づかない、ボールが止まっていた所にできるだけ近い位置に</u>プレーしなければならない。※次打で修理地を通過しない位置にプレース。</p>	<p>修理地</p> <p>プレーヤーが救済を受ける場合は、<u>スタンス及びボールが当該修理地に掛からず、カップに近づかない位置で、かつボールが止まっている位置からできるだけ近い位置に</u>プレーしなければならない。この場合、<u>次打でボールが修理地を通過することは問わない。</u></p>
14	<p>アンプレヤブル</p> <p>プレーヤーは、<u>コース上のどこでも</u>、自分のボールをアンプレヤブル宣言することができる。</p> <p>アンプレヤブルと決めた場合は、アンプレヤブルを宣言し、<u>2打を付加して、そのボールを2クラブ以内で、カップに近づかない所に</u>プレーしなければならない。ただし、<u>2クラブでも</u>プレーする場所が確保できない場合は、<u>なお2クラブ毎に2打を付加し、カップに近づかない位置に</u>プレーすることができる。</p>	<p>アンプレヤブル</p> <p>プレーヤーは、<u>OB区域を除くコース上で</u>アンプレヤブル宣言することができる。</p> <p>アンプレヤブルと決めた場合は、アンプレヤブルを宣言し、<u>1打を付加してそのボールを1クラブ以内で、カップに近づかない位置に</u>プレーしなければならない。ただし、<u>1クラブ以内で</u>プレーする位置が確保できない場合は、<u>更に1クラブごとに1打を付加し、カップに近づかない位置に</u>プレーすることができる。</p>